



新棟完成後の川崎病院

医療法人川崎病院 理事長 市原 紀久雄

平成23年3月に着工した川崎病院の新棟は本年1月末に完成し、1月31日に「内覧会」を開催し、近隣の医療機関の方々にお披露目をしました。おいでいただいた先生方には充分なおもてなしが出来なかったことをお詫び申し上げます。

川崎病院は昭和11年、1936年に川崎造船所の付属病院として開設された古い病院です。主要な建物である本館は、昭和11年当時のままの姿であり、すでに76年が経過しておりますので、患者さんのアメニティに多くの問題をかかえ、また職員にも不要な労力や負担をかけたり、また、手狭であるため進歩する医療技術への対応にも差し支える状況であり、本館の建て替えは当院の職員の悲願でありました。そしてやっとここに新棟の「西館」が完成しました。平成10年に完成した南館を「東館」と改名し、東館と西館からなる「新生川崎病院」となりました。

今回の改築工事は老朽化した病院の再生が第一の目的でございます。色々な希望や構想もございましたが、財政的に過大な計画は出来ません。当院が地域で果たしている役割を逸脱し、無理な理想に走り、ある意味で成熟した地域の医療環境に変化をもたらし、近隣に医療機関の一種の平衡状態を破ることも意図しておりません。当院が地域に果たしている現在の役割をさらに強化し、他の医療機関と協力して地域の人々への医療サービスを改善することを第一の建築理念としました。特に急性期病院として重要な救急を強化するために、救急外来に力を入れました。以前から当院は循環器疾患の診療に重点を置いていましたが、今回の建築ではICCUを新設し重症患者の受け入れをさらに強化する予定です。また、以前から消化器疾患や透析医療、糖尿病などの生活習慣病の治療に力を入れておりましたが、さらにこれらを発展させるべく、腎臓病センターや消化器内視鏡室の強化、糖尿病などの生活習慣病の患者教育の設備なども充実させました。なお、今後の工事で東館を改修し、新たに化学療法室を設置いたします。今回の工事では手術室も増設し、5室となりました。昨年、



兵庫県から「悪性腫瘍の診療拠点病院に準ずる病院」という指定を受けておりますので、今後も悪性腫瘍の治療にも重点をおきたいと存じます。

第二の建築理念は「医療における安全の追求」です。医療においては患者さんと職員の安全への配慮は欠かせません。医療安全に関しては目に見える部分は少ないのですが、随所に配慮いたしました。特に感染対策に重点をおいています。2009年の新型インフルエンザ流行期には当院は何も貢献することが出来ませんでした。理由は感染に対しての設備が整っていなかったもので、院内で職員や患者さんへの感染のおそれがあり、積極的にインフルエンザ患者を受け入れることが出来なかったのです。今回の建築では減圧室を増床し、空気感染の入院患者も安全に受け入れることが出来るようにいたしました。救急外来も、小規模ではありますが、いわゆる「発熱外来」に対応できる仕組みにしております。

第三の理念は職員の満足度の追求であります。職員の労働環境や研修環境の整備にも配慮しました。最近の医療のキーワードの一つはチーム医療です。チーム医療を円滑に実行できるように、各専門職種が動きやすい環境に配慮しました。設計の段階からコメディカルの意見を充分に入れております。患者さんの教育設備を充実し、相談環境を整備しました。また、会議室、研修室やカンファレンス室を多く取り、職員の研修環境も改善しました。また、将来の当院の職員となる実習生への設備なども改善いたしました。一部やや過剰ではないかと思われる部分もございますが、今後の当院のコメディカルの活躍に期待しております。

東館完成から15年かかって全館がリニューアルされた川崎病院は今までどおり、地域の医療機関や福祉施設と協力、連携し神戸の中央部の地域医療の担い手として、さらに高齢化していく地域の方々のお役に立ちたいと考えています。



兵庫県から「悪性腫瘍の診療拠点病院に準ずる病院」という指定を受けておりますので、今後も悪性腫瘍の治療にも重点をおきたいと存じます。

第二の建築理念は「医療における安全の追求」です。医療においては患者さんと職員の安全への配慮は欠かせません。医療安全に関しては目に見える部分は少ないのですが、随所に配慮いたしました。特に感染対策に重点をおいています。2009年の新型インフルエンザ流行期には当院は何も貢献することが出来ませんでした。理由は感染に対しての設備が整っていなかったもので、院内で職員や患者さんへの感染のおそれがあり、積極的にインフルエンザ患者を受け入れることが出来なかったのです。今回の建築では減圧室を増床し、空気感染の入院患者も安全に受け入れることが出来るようにいたしました。救急外来も、小規模ではありますが、いわゆる「発熱外来」に対応できる仕組みにしております。

第三の理念は職員の満足度の追求であります。職員の労働環境や研修環境の整備にも配慮しました。最近の医療のキーワードの一つはチーム医療です。チーム医療を円滑に実行できるように、各専門職種が動きやすい環境に配慮しました。設計の段階からコメディカルの意見を充分に入れております。患者さんの教育設備を充実し、相談環境を整備しました。また、会議室、研修室やカンファレンス室を多く取り、職員の研修環境も改善しました。また、将来の当院の職員となる実習生への設備なども改善いたしました。一部やや過剰ではないかと思われる部分もございますが、今後の当院のコメディカルの活躍に期待しております。

東館完成から15年かかって全館がリニューアルされた川崎病院は今までどおり、地域の医療機関や福祉施設と協力、連携し神戸の中央部の地域医療の担い手として、さらに高齢化していく地域の方々のお役に立ちたいと考えています。

新入職医師のご紹介



副院長 (参与、外科総括部長)
ふじかわ まさひろ
藤川 正博

昭和56年に大阪大学を卒業後、旧大阪大学第一外科関連施設で消化器外科領域を中心に外科臨床に従事してきた経験を生かし、当院でも皆様に満足して頂ける上質の外科治療を提供していきたいと思っております。



外科部長
ごふく じゆんじ
五福 淳二



内科医長
兼 人工透析室医長
はげき さとし
樋木 聡



内科医員
みょうじん まきこ
明神 真希子



整形外科医員
おかひさ しやうへい
岡久 昇平



整形外科医員
いせき たくや
井石 琢也



形成外科医員
まつしま ゆうこ
松嶋 祐子

大幅な被ばく低減と高画質を両立した「新世代血管撮影装置」を導入しました

循環器内科では新病棟建築と合せて、大幅な被ばく低減と高画質を両立した新世代血管撮影装置「Allura Clarity」(株式会社フィリップス エレクトロニクス ジャパン製)を関西地域で初めて導入しました。なお、Allura Clarity に関する詳細な紹介は次号の川崎病院通信に掲載予定です。

心臓カテーテル検査をお受けになるには循環器内科の診察が必要です。診察のご予約は地域医療連携室まで電話またはFAXにてお申込み下さい。
(電話 078-511-3133 / FAX 078-511-3297)



初期研修医



(写真左より)

ほそえ しげろう
細江 重郎
やまもと としや
山本 稔也
おのえ けん
尾上 賢
たまき ひでゆき
玉城 秀行

専門特殊外来担当医表

専門特殊外来は予約(または一般外来の受診)が必要です。

診療科	月	火	水	木	金	土(第2・4は休診)				
内科	午前	【糖尿病外来】市原 紀久雄	【糖尿病外来】大塚 章人	【脳神経外来】篠山 隆司	【糖尿病外来】大塚 章人	【腫瘍外来】向原 徹	【神経内科外来】野田 佳克	【呼吸器外来】徳永 俊太郎
	午後	【糖尿病外来】久保 聡子	【腎臓外来】粕本 博臣	【呼吸器外来】富田 菜々子	【禁煙外来】中村(1・3・5)/久保(2・4)	【血液外来】飯田 正人
循環器科	午後	【ペースメーカー外来(第1、第3のみ)】
外科	午前	【直腸肛門外来】柴北 宗顕
	午後	【乳腺外来】阪尾 淳 13:30~14:30	【直腸肛門外来】柴北 宗顕 14:00~	【乳腺外来】木許 健生 13:30~14:30	【直腸肛門機能外来】14:00~16:00 (第1、第3のみ)	【ストマ外来】14:00~16:00 (第2、第4のみ)
整形外科	午前	【スポーツ外来】戸祭 正喜	
耳鼻咽喉科	午後	【補聴器外来】要外来受診(第1、第3、第4、第5のみ)	
形成外科	午前	【リンパ浮腫外来】武川 力	【フットケア外来】	

その他、各診療科にて力を注いでいる疾患・治療

注)学会など諸事情により代診、休診になる場合もあります。あらかじめご了承ください。

標榜科	専門	医師名および診療曜日	標榜科	専門	医師名および診療曜日
内科	糖尿病	市原 紀久雄 (金曜 午前) 大塚 章人 (月曜 午前)	消化器内科	悪性疾患(膵臓癌、胆管癌等)により黄疸が出た時のステント減黄術	全医師が対応いたします
	消化器一般	多田 秀敏 (火曜 午前/金曜 午前)		消化器癌の早期発見と内視鏡治療	
	肥満、高脂血症、痛風	中村 正 (月曜 午前/水曜 午前)	循環器内科	閉塞性動脈硬化症	全医師が対応いたします
	血液	飯田 正人 (月曜 午前/水曜 午前/木曜 午前)		狭心症	
	腎臓	粕本 博臣 (水曜 午前) 樋木 聡 (月曜 午前)	整形外科	小児全般	戸祭 正喜 (月曜 午前/金曜 午前)
耳鼻咽喉科	睡眠時無呼吸症候群	下屋 聡子 (月・水・木・金・土 午前) 土曜日は第3・5のみ		手全般	
	中耳炎		スポーツ障害全般		
	アレルギー性鼻炎		熱傷を含む外傷	武川 力 (月・火・木・金 午前/水曜 午後)	
	副鼻腔炎		良性・悪性の皮膚腫瘍		
	扁桃炎		美容医療		
	声帯ポリープ		感染症		
	突発性難聴		腫瘍(悪性、良性)	全医師が対応いたします	
顔面神経麻痺	顎骨骨折				
眼科	涙道手術	松場 真弓 (火・水・金 午前)	歯科 口腔外科	インプラントおよびインプラントのための骨再生	

ご予約は地域医療連携室まで電話またはFAXにてお申し込み下さい。 電話 078-511-3133 / FAX 078-511-3297